

土地区画整理事業により **3,300人の新たな雇用創出！** 交流人口・定住人口も増加！ —内原駅北土地区画整理事業—

【施行前の課題】

当地区は国道50号や幹線道路の整備が進展する一方、駅前広場や道路・公園等の都市基盤の整備が遅れ、ポテンシャルを活かし切れていないことが課題でした。

【事業の目的】

居住機能と商業サービス機能を兼ね備えた市街地の形成を図り、市西部の活力の核となることを目的としています。

【事業の成果】

都市基盤の整備が進み、複合型商業施設の出店も伴い、**人口の増加や新たな雇用の創出が見られ、まちに賑わいが生まれました。**

事業の成果

| | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------|
| 新たな雇用の創出 | 約 3,300人 | ↑ 皆増 |
| 交流人口の増加 (内原駅の1日当たりの乗客数) | 約1,500人 → 約 2,600人 | ↑ 7割増 |
| 定住人口の増加 | 約170人 → 約 340人 | ↑ 倍増 |

※H14とH26の比較



【事業概要】

- ・事業期間 平成15年度～平成26年度
- ・総事業費 約66億円
- ・施行面積 約36.7ha
- ・施行主体 水戸市
- ・施行箇所 水戸市内原町外



平成15年9月撮影

平成27年2月撮影